

## 「高木秀彰賞」の創設について

2018年8月25日  
日本学生自転車競技連盟

島根大学サイクリング部で本連盟加盟校選手として自転車競技に親しみ、その後、サイクルフォトジャーナリストとして、とりわけ学生自転車競技の発展を願いつつ活躍され、多大なる貢献をされた、故 高木秀彰氏の遺志とご家族のご意向により、今後10年間にわたり、特別賞として「高木秀彰賞」を授与して頂くことになりました。

本年度より、文部科学大臣杯全日本大学対抗選手権自転車競技大会ロードレースの覇者（男子・女子）を擁するチームに授与することといたします。

(対象大会は今後、変更となる場合があります)



2017年 第74回 文部科学大臣杯  
全日本大学対抗選手権自転車競技大会  
撮影：高木秀彰



故 高木秀彰氏略歴 1961年東京生まれ。島根大学サイクリング部で自転車競技選手として活躍。会社員勤務21年間を経て45歳で独立、2006年から日本を代表するサイクル・フォト・ジャーナリストとして活躍。以降10年以上に渡り、国内のレースシーンを幅広く精力的に追いつけた。取材対象は市民レースから全日本選手権まで、国内トップレベルのレースにとどまらず、国民体育大会や地方・地域大会、学連や高体連など若手のレースまで主要大会を精力的に取材し、報道し続けてきた。インカレには毎年必ず撮影で来場されていた。その写真の技量とともに、選手個々人の力量や将来性までを見抜く洞察力に基づくフォトレポートによって、国内の自転車レースシーンを詳細に伝え続けた業績が高く評価されている。

2017年10月、56歳の若さで急逝。

故高木秀彰氏 写真：小森信道